

事務事業名		交通安全対策事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	03 安全なまちづくりの推進			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 07 02																							
	施策名	09 交通安全対策の推進																											
	基本事業名	01 交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進																											
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
所属	部課名	生活福祉部市民生活環境課																											
	係 名	交通安全係	電話 内線	27-3111 127																									
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・交通指導員を設置し、広く市民に交通安全思想の普及、交通安全の保持のために必要な指導を行う。 ・大船渡市交通安全対策協議会を組織し、交通安全確保と円滑化に関し、関係機関、団体等と緊密な連携を図り総合的・効率的な対策を推進する。 ①大船渡市交通安全対策協議会の開催②交通安全教室・講習会等の開催③街頭指導及び広報活動④交通安全市民大会の実施⑤交通安全コンクールの実施⑥交通安全推進協力員、シルバー交通安全推進員の委嘱⑦交通安全モデル地区の指定⑧交通安全施設の整備⑨交通災害共済事務 事業費は、交通指導員への報酬費、被服費、市民大会開催費用、啓発看板の作成 (委託) などに支出される。																													
全体計画 (※期間限定複数年度のみ) <table> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
人件費	正規職員従事人数																												
	延べ業務時間																												
	人件費計 (B)	0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ・交通指導員による街頭指導、交通安全教室など ・大船渡市交通安全対策協議会による交通安全教育の充実・強化と安全思想の普及 上記事業概要の①から⑨のとおり 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度と同様		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 交通指導員延べ出動回数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 交通指導員延べ出動回数	日	イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数	件	ウ	
		名称	単位							
		ア 交通指導員延べ出動回数	日							
		イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数	件							
ウ										
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民、交通安全関係機関	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 交通指導員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ 交通指導員数	人	ク		
名称	単位									
カ 市の人口	人									
キ 交通指導員数	人									
ク										
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通ルールの遵守など、交通安全意識を高めてもらう。	⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 座談会、研修会参加延べ人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 街頭指導参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 座談会、研修会参加延べ人数	人	シ 街頭指導参加人数	人	ス		
名称	単位									
サ 座談会、研修会参加延べ人数	人									
シ 街頭指導参加人数	人									
ス										
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・交通安全や交通事故に対する意識や備えがある。 ・交通ルールが守られる。										

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	2,817	2,420	2,347	2,268	2,137	1,997
			地方債	千 円						
			その他	千 円	592	717	1,696	321	328	336
			一般財源	千 円	10,058	11,379	6,947	7,839	7,606	8,535
			事業費計 (A)	千 円	13,467	14,516	10,990	10,428	10,071	10,868
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	2,000	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
		人件費計 (B)	千 円	8,000	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	21,467	28,916	25,390	24,828	24,471	25,268
⑤活動指標		ア	日	6,980	7,401	7,618	7,292	7,194	6,601	
	イ	件	232	248	247	146	113	121		
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	43,209	42,575	42,158	41,684	41,334	40,537		
	キ	人	50	49	49	49	48	47		
	ク									
⑦成果指標	サ	人	14,623	13,430	19,874	10,205	11,028	11,262		
	シ	人	2,760	2,916	2,772	1,249	1,298	927		
	ス									

事務事業ID	0060	事務事業名	交通安全対策事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

交通事故による、人的、物的損害が多く、その減少を図るため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

昭和40年～50年代は小学生の犠牲や若年ドライバーの暴走運転が原因の事故が多かったが、最近は高齢社会に伴い、高齢者の交通事故が増えている。また、交通事故の未然防止、交通安全啓発のため交通指導員や交通安全関係者等による夜間街頭指導など各種街頭指導や交通安全教室などを他市よりも多く実施していたが、それら関係者の負担の軽減を図るため、平成20年度から交通安全活動の見直しを図った。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

交通安全活動は良いことである、どんどんやるべき、との声がある一方で、活動が活発すぎてついていけない、やりすぎであるとの意見もあり、平成20年度に街頭指導の回数等事業を大きく見直し、参加者の負担の軽減を図った。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 交通安全意識を高めることは、交通ルールの遵守につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 交通安全対策基本法により、交通安全の確保は、国及び地方自治体の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 交通安全や交通事故に対する意識や備えをもち、交通ルールが守るべき対象は市民であり、その取り組みには、交通安全関係機関が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 交通安全活動は県内のどの市町村よりも活発に行っており、人身事故の件数が減少してきている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 交通マナーの悪化を招き、交通事故の増加につながる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 交通安全対策は交通安全対策基本法に基づき、実施されているものであり、他に類似事務事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の主なものは、交通指導員への報酬であり、当市の交通指導員の報酬は県内他市の交通指導員と比べても出勤一回あたりの単価は非常に低く、これ以上の削減は見込めない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 最低限の人員で対応しており、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民全員が、交通安全活動の対象者であり公平である。

事務事業ID	0060	事務事業名	交通安全対策事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成22年度は、交通安全対策事業として取り組んでいる夜間街頭指導などの各種街頭指導の回数等を見直し、季節運動期間中に重点的に取り組むことで効率的な活動としたところであるが、昨年に比べて死亡事故が1件増加し、物損事故が微増となった。人身事故と負傷者数については減少した。これらの要因は、気象条件など様々であり、今後も同様に効率的、効果的な交通安全活動を実施するものとする。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 安全なまちづくり政策を推進するため、交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進は不可欠であり、今後も継続した取り組みが必要である。平成20年度から各種街頭指導の回数等を見直し、効率的な活動をしているところであり、交通ルールの遵守など、交通安全意識の高揚のため現状の取組みが必要である。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 市民生活環境課長
-------	---------------------------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 当市は県内でも積極的に交通安全活動が行われており、関係者の負担が大きいことから、各種街頭指導などの回数等を見直すとともに、季節運動期間中に重点的に取り組むことなどで、効果的・効率的な活動に取り組んでいる。昨年に比べて死亡事故が1件増加し、物損事故が微増となったが、人身事故と負傷者数は減少しており、概ね適切な事務執行がなされている。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 広く市民へ交通安全思想を普及させるためには、継続した活動が重要である。また、東日本大震災によって、交通安全施設の流失、復旧・復興関係車両の増加、仮設住宅への入居、店舗の減少などにより、交通渋滞の発生や、新たな危険箇所など、交通環境が大きく変わっている。このため、関係機関との一層の連携のもと、これまで以上に効率的・効果的な交通安全活動を心がけて実施していく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
